

専門教育科目

講義科目

授業科目名	経営管理会計	科目コード	配当年次	単位
担当教員	中村 俊紀	EJ07	3・4	2
科目の概要				
<p>管理会計は、日常業務の改善や意思決定を行う際に有効なツールとして活用することができる。 本科目では、日常の仕事をイメージしやすい具体的な事例を用いながら、原価のしくみやコスト・マネジメントの手法、さらに利益のシミュレーションの方法等を学ぶことによって、採算性やコスト意識を身につける。</p>				
科目の到達目標				
<p>①コスト・マネジメントとは何かを理解し、コスト・マネジメントの課題である原価削減のためのスキルを身につけることができる。 ②原価削減のためのスキルを活用して、利益計画のシミュレーションやマネジメントにおける意思決定問題を解く思考・判断力を身につけることができる。</p>				
テキスト	『「管理会計の基本」がすべてわかる本（第2版）』金子 智朗, 秀和システム, 2017年			
テキストの読み方				
<p>①企業会計は、会計制度への準拠という観点から、制度に準拠する「財務会計」と制度に準拠しない「管理会計」に区分される。また、情報の提供先という観点から、企業外部の利害関係者への情報提供を主眼とする「財務会計」と企業内部の経営者・経営管理者への情報提供を主眼とする「管理会計」に区分される。 ②管理会計は、経営の効率性・有効性を高めて、企業価値を創造し増大しようとする経営者・経営管理者に、有用な情報をタイムリーに提供することを目的とする会計の領域である。そのため、管理会計の領域には、多種多様な事項が含まれる。 ③会計の専門家・専門職を目指す方のみならず、一般のビジネスに従事する方にも広く役立つように「意思決定」「業績評価」「事業価値や企業価値の評価」を目的とする管理会計の領域を中心として、テキストを読んで欲しい。</p>				
単位修得の方法				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。 または、 ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				